

イスラームの英雄

第 9 巻

アブドゥッラー・ブン・ラワーハ

アッラーの使徒 ﷺ の詩人、ムウタの三番目の司令官 — クルアーンと真正なハディースに基づいて

Hj Che Alim Hj Che Haron
AK (Kelantan)
quranscience.my

© 2026 年 / 1448 AH Hj Che Alim Hj Che Haron AK (Kelantan) • quranscience.my • @QuranScienceMY
この電子書籍はムスリムのための無料版です — 販売禁止。

بِسْمِ اللَّهِ الرَّحْمَنِ الرَّحِيمِ

イスラームの英雄

第 9 巻

アブドゥッラー・ブン・ラワーハ

アッラーの使徒 ﷺ の詩人、ムウタの三番目の司令官 — クルアーンと真正なハディースに基づいて

وَإِن مِّنكُمْ إِلَّا وَارِدُهَا ۚ كَانَ عَلَىٰ رَبِّكَ حَتْمًا مَّقْضِيًّا ﴿٧١﴾

「そしてあなたがたの中一人もそれを通り越せない。これはあなたがたの主が，成し遂げられる御神命である。」

マルヤム章 19:71

HJ CHE ALIM HJ CHE HARON

quranscience.my | @QuranScienceMY

© 2026 年 / 1448 AH quranscience.my — 無料の電子書籍。販売禁止。

謝辞

人間に言葉を教え、信者の舌を真理の道具とされたアッラーに讃えあれ。私たちの主、預言者ムハンマド ﷺ と、その家族と教友たち、とりわけアッラーの使徒 ﷺ の詩人であり、ムウタで殉教した三番目の司令官であるアブドゥッラー・ブン・ラワーハ رضى الله عنه に祝福と平安あれ。

この電子書籍を、最愛の妻

ザハラ・モハマド・ラティフ；

愛する子どもたち、

ムハンマド・ハフィズ、ヌール・ハズワニ、アブドゥル・ハキム、ヌール・ヒダヤ、ノル・アキラ、ノル・アティカ；

そして義理の子どもたち、

ファジラ、マレク、ハニン、ファイリザル、フィルワンに捧げます。

『イスラームの英雄』第 9 巻は、アブドゥッラー・ブン・ラワーハ رضى الله عنه の生涯を語ります。アカバの誓いの代表者（ナキーブ）、その詩をアッラーの使徒 ﷺ ご自身が口ずさまれた詩人、焼けつく日に断食した礼拝者、ハイバルの公正な査定人、そしてムウタで殉教した三番目の司令官です。この知識が「役に立つ知識（イルムン・ユンタファウ・ビヒ）」となりますように。

この電子書籍の表紙について

この電子書籍の表紙には、人間も動物も描かれていません。描かれているのは、日の出前の ***マディーナのナツメヤシ園***です。まだ星の残る深い青空の下にそびえるナツメヤシの木々と、丘の向こうから差し始める金色の夜明けの光。マディーナは、ハズラジュ族の援助者（アンサール）アブドゥッラー・ブン・ラワーハの故郷でした。

明けゆく夜明けは、アッラーの使徒 ﷺ についてのイブン・ラワーハの詩を思い起こさせます。「私たちの中にはアッラーの使徒がおられ、明るい夜明けが差すとき、かれの啓典を朗誦される」（『サヒーフ・ブハーリー』1155）。

日干しれんがの壁の上には、***灯った素焼きのランプ***、***巻かれた羊皮紙***、そして***葦のペン***が置かれています。マディーナで字を書ける数少ない人の一人であり、舌とペンでイスラームを守った詩人イブン・ラワーハの象徴です。

下部の***紺色の帯***は、***細い金色の線***に縁取られ、著者名が記される場所です。『イスラームの英雄』の表紙がすべてそろうよう、第 1 巻から第 8 巻までの表紙と同じ形にしています。

© 2026 年 / 1448 AH 著作権所有 Hj Che Alim Hj Che Haron — ムスリムのための無料版 |

目次

アブドゥッラー・ブン・ラワーハ — *はじめに*

1. アブドゥッラー・ブン・ラワーハとは誰か — *スィーラと伝記の書*

2. アカバの誓いのナキーブ — *イブン・イスハーク；イブン・ヒシャーム*

3. 「なんと得な取引か」 — *悔悟章 9:111*

4. アッラーの使徒ﷺとともに戦場へ — *遠征記（マガーズィー）の書*

5. クルアーンの中の詩人 — *詩人たち章 26:224、26:227*

6. 塹壕でのイブン・ラワーハの詩 — *『サヒーフ・ブハーリー』4106*

7. 「あなたがたの兄弟は卑しい言葉を口にしない」 — *『サヒーフ・ブハーリー』1155*

8. 焼けつく日の断食 — *『サヒーフ・ブハーリー』1945*

9. 補いのウムラで使徒ﷺの前に — *『ジャーミウ・アッ＝ティルミズィー』2847*

10. ハイバルの公正な査定人 — *『ムワッタア・マーリク』*

11. 気絶とアムラの涙 — *『サヒーフ・ブハーリー』4267、4268*

12. ムウタへ出発する前の涙 — *イブン・イスハーク；マルヤム章 19:71*

13. 「私たちは数で戦うのではない」 — *イブン・イスハーク；イブン・ヒシャーム*

14. ムウタの三番目の司令官 — *『サヒーフ・ブハーリー』4262*

15. アッラーの使徒ﷺの悲しみ — *『サヒーフ・ブハーリー』4263*

16. イブン・ラワーハの人柄 — *まとめ*

17. イブン・ラワーハの物語の典拠 — *表*

18. イブン・ラワーハの物語の人物 — *表*

19. イブン・ラワーハの物語の場所 — *表*

20. イブン・ラワーハの生涯の年表 — *表*

21. イブン・ラワーハについてよくある質問 — *12 の質問*

22. 教訓と結び

参考文献

支援と寄付

色の見方：緑の枠 = クルアーンの節；金色の枠 = ハディース；茶色の枠 = スィーラの注（スィーラ書の伝承）；青い表 = 比較。青い下線の伝承者名をクリックすると、sunnah.com の伝承者のページが開く。

アブドゥッラー・ブン・ラワーハ

ハンダク（塹壕）の戦いでマディーナの周りに塹壕を掘ったとき、アッラーの使徒 ﷺ はご自身の手で土を運びながら、詩を口ずさまれました。 *「□□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□□□□□ □□□□□□ □□□□□□□□□□□□□□□ □□□□ □□□□□□□ □□□□□□□□ □□□□□□□□□□□□ □□□□□□」* — *「アッラーよ、あなたがおられなければ、私たちは導かれず、施しもせず、礼拝もしなかったでしょう」*。バラーウは、それが*イブン・ラワーハの言葉*だったと伝えています（『サヒーフ・ブハーリー』4106）。

その詩人こそ、ハズラジュ族の援助者（アンサール）*アブドゥッラー・ブン・ラワーハ* رضى الله عنه です。アカバの誓いの十二人の*ナキーブ*（代表者）の一人で、バドルとその後の戦いに参加し、詩によってイスラームを守り、*ムウタ*で殉教した三番目の司令官となりました。

この電子書籍は*『イスラームの英雄』*シリーズの第 9 巻で、第 7 巻（ザイド・ブン・ハーリサ）と第 8 巻（ジャアファル・ブン・アビー・ターリブ）に続き、ムウタの三人の司令官の物語を完結させます。これまでの巻と同じく、まずクルアーンと真正なハディースから、次に信頼できるスィーラ（預言者伝）と歴史の書から物語を集めています。すべての伝承に出典を示し、有名でも伝承経路が弱い話はそのことを正直に説明します。

イブン・ラワーハの物語は、自らの舌を信仰に従わせた詩人の物語です。その詩はアッラーの使徒 ﷺ に口ずさまれ、その生涯は、行いによって裏付けられた言葉とともに終わりました。

アブドゥッラー・ブン・ラワーハとは誰か

彼の正式な名は*アブドゥッラー・ブン・ラワーハ・ブン・サアラバ*、マディーナのハズラジュ族ハーリス家の援助者（アンサール）です。クンヤ（通称）は*アブー・ムハンマド*で、アブー・ラワーハともいわれます。姉妹の*アムラ・ビント・ラワーハ*は、教友*ヌウマーン・ブン・バシール*の母です。

伝記の書によれば、彼はイスラーム以前のマディーナで字を書けた数少ない人の一人であり、部族の中でよく知られた詩人でした。

名前と呼び名

名前・呼び名	説明
アブドゥッラー・ブン・ラワーハ	本名
アブー・ムハンマド	よく知られたクンヤ
アル＝アンサーリー・アル＝ハズラジー	アンサールのハズラジュ族の出身
ハーリス家のナキーブ	アカバの誓いの十二人の代表者の一人
アッラーの使徒 ﷺ の詩人	ハッサーン・ブン・サービト、カアブ・ブン・マーリクとともに

教訓

文字や詩の才能のように、アッラーが授けられた才能は、真理のために使われるとき尊いものとなります。

© 2026 年 / 1448 AH 著作権所有 Hj Che Alim Hj Che Haron — ムスリムのための無料版 |

アカバの誓いのナキーブ

預言者となって 13 年目の巡礼の季節、マディーナの七十人余りの男性と二人の女性が、ミナーの***アカバ***でひそかにアッラーの使徒 ﷺ に忠誠を誓いました。彼らは自分の家族を守るように使徒を守ると約束しました。

歴史の注：十二人のナキーブ

アッラーの使徒 ﷺ は、それぞれの部族に責任を持つ十二人の***ナキーブ***（代表者）を選ぶよう求められました。ハズラジュ族から九人、アウス族から三人です。アブドゥッラー・ブン・ラワーハは、ハズラジュ族ハーリス家を代表するナキーブの一人でした。

伝承の評価： ナキーブの名簿はスィーラの書でよく知られています。

参照：

イブン・ヒシャーム『預言者伝』（イブン・イスハークからの伝承）；イブン・サアド『大列伝』。

教訓

イブン・ラワーハは、最初の日から部族の指導者に選ばれました。部族の信頼は、彼の人柄と知恵の証しでした。

© 2026 年 / 1448 AH 著作権所有 Hj Che Alim Hj Che Haron — ムスリムのための無料版 |

「なんと得な取引か」

アカバの誓いは一つの契約でした。アンサールはアッラーの使徒 ﷺ を守るために命と財産を差し出し、その報いは楽園です。アッラーはこのような契約を、最も得な取引として描いておられます。

悔悟章 9:111

۞إِنَّ ٱللَّهَ ٱشۡتَرَىٰ مِنَ ٱلۡمُؤۡمِنِينَ أَنفُسَهُمۡ وَأَمۡوَٰلَهُم بِأَنَّ لَهُمُ ٱلۡجَنَّةَۚ يُقَٰتِلُونَ فِي سَبِيلِ ٱللَّهِ فَيَقۡتُلُونَ وَيُقۡتَلُونَۖ وَعۡدًا عَلَيۡهِ حَقًّا فِي ٱلتَّوۡرَىٰةِ وَٱلۡإِنجِيلِ وَٱلۡقُرۡءَانِۚ وَمَنۡ أَوۡفَىٰ بِعَهۡدِهِۦ مِنَ ٱللَّهِۚ فَٱسۡتَبۡشِرُواْ بِبَيۡعِكُمُ ٱلَّذِي بَايَعۡتُم بِهِۦۚ وَذَٰلِكَ هُوَ ٱلۡفَوۡزُ ٱلۡعَظِيمُ ١١١

本当にアッラーは，信者たちからその生命と財産を贖われた。かれらのため（の代償）は，楽園である。かれらはアッラーの道のために戦い，殺し，また殺される。それは律法と福音とクルアーンとを通じて，かれが結ばれる真実な約束である。誰がアッラー以上に，約束に忠実であろうか。だからあなたがたが結んだ契約を喜べ。それこそは至上の幸福の成就である。

訳：三田了一 — quran.com/9:111

歴史の注：「私たちは決して取り消さない」

アカバの夜、アブドゥッラー・ブン・ラワーハはアッラーの使徒 ﷺ に「あなたの主とあなた自身のために、望むままに条件を定めてください」と言ったと伝えられます。使徒が条件を述べられると、彼らは「そうしたら私たちには何があるのですか」と尋ね、使徒は「楽園だ」と答えられました。彼らは言いました。「なんと得な取引か。私たちは決してこれを取り消さず、取り消しを求めもしない。」

伝承の評価： 解釈学者たちが伝える「ムルサル」（伝承経路の途中が欠けた）伝承ですが、その意味はこの節とアカバの誓いの話に合致しています。

参照：

イブン・カスィール『偉大なるクルアーンの解釈』（悔悟章 9:111）、ムハンマド・ブン・カアブ・アル＝クラズィーの伝承より。

教訓

信者は、アッラーの道での犠牲を損失ではなく、最も得な商いと見なします。イブン・ラワーハはムウタでその言葉を証明しました。

© 2026 年 / 1448 AH 著作権所有 Hj Che Alim Hj Che Haron — ムスリムのための無料版 |

アッラーの使徒ﷺとともに戦場へ

イブン・ラワーハは*バドル*、*ウフド*、*ハンダク*、*フダイビヤ*、そして*ハイバル*に参加しました。バドルの後には、ザイド・ブン・ハーリサとともに勝利の吉報をマディーナに伝えるために送られました（第 7 巻：ザイド・ブン・ハーリサを参照）。

歴史の注：指導の託し

スィーラの書によれば、アッラーの使徒 ﷺ は*バドル・アル＝マウイド*（ヒジュラ暦 4 年）に出陣する際、イブン・ラワーハをマディーナの代理に任命され、ヒジュラ暦 6 年には彼に小部隊を率いさせてハイバルへ送られました。

伝承の評価： スィーラと遠征記の書に伝えられています。

参照：

イブン・ヒシャーム『預言者伝』；ワーキディー『マガーズィー』；イブン・サアド『大列伝』。

教訓

イブン・ラワーハは言葉だけの詩人ではなく、あらゆる戦場でアッラーの使徒 ﷺ とともにあった戦士でした。

© 2026 年 / 1448 AH 著作権所有 Hj Che Alim Hj Che Haron — ムスリムのための無料版 |

クルアーンの中の詩人

無明時代には、詩はしばしば偽りをほめたたえ、人をののしり、してもいないことを自慢するために使われました。アッラーはそのような詩人についてこう言われます。

詩人たち章 26:224

وَٱلشُّعَرَآءُ يَتَّبِعُهُمُ ٱلْغَاوُۥنَ ﴿٢٢٤﴾

また詩人たちのことだが，（悪魔に）唆かされた者たち（だけ）が，かれらに従う。

訳：三田了一 — quran.com/26:224

しかしアッラーは、真理のために詩を用いる信仰ある詩人を例外とされました。

詩人たち章 26:227

إِلَّا ٱلَّذِينَ ءَامَنُواْ وَعَمِلُواْ ٱلصَّٰلِحَٰتِ وَذَكَرُواْ ٱللَّهَ كَثِيرًا وَٱنتَصَرُواْ مِنۢ بَعۡدِ مَا ظُلِمُواْۗ وَسَيَعۡلَمُ ٱلَّذِينَ ظَلَمُوٓاْ أَيَّ مُنقَلَبٖ يَنقَلِبُونَ ﴿٢٢٧﴾

信仰して善行に勤しむ者，またアッラーを多く唱念し，迫害された後には自らを守る者は別である。不義を行った者たちは，どんな変り方で，移り変っていくかを，やがて知ることになろう。

訳：三田了一 — quran.com/26:227

解釈の注：三人の詩人の涙

詩人についての節が下されたとき、アブドゥッラー・ブン・ラワーハ、ハッサーン・ブン・サービト、カアブ・ブン・マーリクが泣きながらアッラーの使徒 ﷺ のもとに来て、「アッラーはこの節を下されたとき、私たちが詩人であることをご存じでした」と言ったと伝えられます。そこで使徒は例外の節を読み聞かせられました。「ただし信仰して善行に励み……」

伝承の評価： 解釈学者たちが伝える「ムルサル」伝承ですが、227 節の例外はクルアーンそのものから明らかです。

参照：

タバリー『ジャーミウ・アル＝バヤーン』；イブン・カスィール『偉大なるクルアーンの解釈』（詩人たち章 26:224〜227）。

教訓

イスラームは芸術や美しい言葉の敵ではありません。大切なのは内容です。アッラーを思い起こさせ、真理を守る詩は崇拝行為なのです。

© 2026 年 / 1448 AH 著作権所有 Hj Che Alim Hj Che Haron — ムスリムのための無料版 |

塹壕でのイブン・ラワーハの詩

ヒジュラ暦5年、ムスリムたちは部族連合軍に備えてマディーナの北に塹壕を掘りました。疲れと飢えの中、アッラーの使徒 ﷺ ご自身が土を運びながら、イブン・ラワーハの詩を口ずさまれました。

ハディース — 『サヒーフ・ブハーリー』第4106番

حَدَّثَنِي أَحْمَدُ بْنُ عُثْمَانَ، حَدَّثَنَا شُرَيْحُ بْنُ مَسْلَمَةَ، قَالَ حَدَّثَنِي إِبْرَاهِيمُ بْنُ يُوسُفَ، قَالَ حَدَّثَنِي أَبِي، عَنْ أَبِي إِسْحَاقَ، قَالَ سَمِعْتُ الْبَرَاءَ، يُحَدِّثُ قَالَ لَمَّا كَانَ يَوْمُ الأَحْزَابِ، وَخَنْدَقَ رَسُولُ اللَّهِ صلى الله عليه وسلم رَأَيْتُهُ يَنْقُلُ مِنْ تُرَابِ الْخَنْدَقِ حَتَّى وَارَى عَنِّي الْغُبَارُ جِلْدَةَ بَطْنِهِ، وَكَانَ كَثِيرَ الشَّعَرِ، فَسَمِعْتُهُ يَرْتَجِزُ بِكَلِمَاتِ ابْنِ رَوَاحَةَ، وَهْوَ يَنْقُلُ مِنَ التُّرَابِ يَقُولُ اللَّهُمَّ لَوْلاَ أَنْتَ مَا اهْتَدَيْنَا وَلاَ تَصَدَّقْنَا وَلاَ صَلَّيْنَا فَأَنْزِلَنْ سَكِينَةً عَلَيْنَا وَثَبِّتِ الأَقْدَامَ إِنْ لاَقَيْنَا إِنَّ الأُلَى قَدْ بَغَوْا عَلَيْنَا وَإِنْ أَرَادُوا فِتْنَةً أَبَيْنَا قَالَ ثُمَّ يَمُدُّ صَوْتَهُ بِآخِرِهَا.

訳：

バラーウは言いました。部族連合の日、アッラーの使徒 ﷺ が塹壕を掘られたとき、私は使徒が塹壕の土を運んでおられるのを見ました。土ぼこりが使徒のお腹の肌を私の目から隠すほどでした——使徒は毛深い方でした。*私は、使徒が土を運びながらイブン・ラワーハの言葉を口ずさまれるのを聞きました。「アッラーよ、あなたがおられなければ、私たちは導かれず、施しもせず、礼拝もしなかったでしょう。私たちに安らぎを下し、敵に会うときは足を固めてください。彼らは私たちに不正を働きました。彼らが試練（フィトナ）を望むなら、私たちは拒みます。」* バラーウは言いました。それから使徒は、最後の言葉で声を長く伸ばされました。

伝承経路： イマーム・ブハーリーの伝承：アフマド・ブン・ウスマーン ← シュライフ・ブン・マスラマ ← イブラーヒーム・ブン・ユースフ ← ユースフ・ブン・イスハーク ← アブー・イスハーク・アッ＝サビーイー ← アル＝バラーウ・ブン・アーズィブ رضي الله عنه。

出典： イマーム・ブハーリー『サヒーフ・ブハーリー』遠征の書、ハンダクの戦いの章、ハディース第4106番。

等級： サヒーフ（真正）— 『サヒーフ・ブハーリー』に収録。ハディース学者の総意により、クルアーンに次いで最も真正な書である。

典拠： https://sunnah.com/bukhari:4106

教訓

良い詩は、苦しいときに力を与え、アッラーを思い起こさせます。イブン・ラワーハの誉れは、その言葉がアッラーの使徒 ﷺ ご自身によって口ずさまれたことです。

「あなたがたの兄弟は卑しい言葉を口にしない」

アブー・フライラ رضى الله عنه は説話の中でアッラーの使徒 ﷺ について語ったとき、夜明けにクルアーンを朗誦し、夜に礼拝に立つ使徒を描いたイブン・ラワーハの詩を引用しました。

ハディース ― 『サヒーフ・ブハーリー』第 1155 番

حَدَّثَنَا يَحْيَى بْنُ بُكَيْرٍ، قَالَ حَدَّثَنَا اللَّيْثُ، عَنْ يُونُسَ، عَنِ ابْنِ شِهَابٍ، أَخْبَرَنِي الْهَيْثَمُ بْنُ أَبِي سِنَانٍ، أَنَّهُ سَمِعَ أَبَا هُرَيْرَةَ ـ رضى الله عنه ـ وَهُوَ يَقُصُّ فِي قَصَصِهِ وَهُوَ يَذْكُرُ رَسُولَ اللَّهِ صلى الله عليه وسلم إِنَّ أَخًا لَكُمْ لاَ يَقُولُ الرَّفَثَ. يَعْنِي بِذَلِكَ عَبْدَ اللَّهِ بْنَ رَوَاحَةَ وَفِينَا رَسُولُ اللَّهِ يَتْلُو كِتَابَهُ إِذَا انْشَقَّ مَعْرُوفٌ مِنَ الْفَجْرِ سَاطِعُ أَرَانَا الْهُدَى بَعْدَ الْعَمَى فَقُلُوبُنَا بِهِ مُوقِنَاتٌ أَنَّ مَا قَالَ وَاقِعُ يَبِيتُ يُجَافِي جَنْبَهُ عَنْ فِرَاشِهِ إِذَا اسْتَثْقَلَتْ بِالْمُشْرِكِينَ الْمَضَاجِعُ

訳：

ハイサム・ブン・アビー・スィナーンは、アブー・フライラが説話の中でアッラーの使徒 ﷺ について語りながらこう言うのを聞きました。*「あなたがたの兄弟は卑しい言葉を口にしない」*――アブドゥッラー・ブン・ラワーハのことです――（彼は詩の中でこう言いました。）*「私たちの中にはアッラーの使徒がおられ、明るい夜明けが差すとき、かれの啓典を朗誦される。私たちが盲目だった後に導きを示してくださったので、私たちの心は、使徒の言われたことが必ず起こると確信している。多神教徒たちが寝床で深く眠るとき、使徒は脇腹を寝床から離して夜を過ごされる。」*

伝承経路： イマーム・ブハーリーの伝承：ヤフヤー・ブン・ブカイル ← アッ＝ライス・ブン・サアド ← ユーヌス・ブン・ヤズィード ← イブン・シハーブ・アッ＝ズフリー ← アル＝ハイサム・ブン・アビー・スィナーン ← アブー・フライラ رضى الله عنه。

出典： イマーム・ブハーリー『サヒーフ・ブハーリー』夜の礼拝の書、夜に目覚めて礼拝する者の徳の章、ハディース第 1155 番。

等級： サヒーフ（真正）― 『サヒーフ・ブハーリー』に収録。ハディース学者の総意により、クルアーンに次いで最も真正な書である。

*典拠：*https://sunnah.com/bukhari:1155

イマーム・ブハーリーはこのハディースを夜の礼拝の徳の章に収めています。イブン・ラワーハの詩が、アッラーの使徒 ﷺ の夜の礼拝をとても美しく描いているからです。

教訓

イブン・ラワーハの詩は卑しい言葉を含まず、信仰に満ちていました。守られた舌は、何世紀たっても読まれる言葉を残します。

焼けつく日の断食

イブン・ラワーハは礼拝への熱心さで知られていました。アブー・アッ＝ダルダーウ رضى الله عنه は、アッラーの使徒 ﷺ との旅についてこう語ります。

ハディース ― 『サヒーフ・ブハーリー』第 1945 番

حَدَّثَنَا عَبْدُ اللَّهِ بْنُ يُوسُفَ، حَدَّثَنَا يَحْيَى بْنُ حَمْزَةَ، عَنْ عَبْدِ الرَّحْمَنِ بْنِ يَزِيدَ بْنِ جَابِرٍ، أَنَّ إِسْمَاعِيلَ بْنَ عُبَيْدِ اللَّهِ، حَدَّثَهُ عَنْ أُمِّ الدَّرْدَاءِ، عَنْ أَبِي الدَّرْدَاءِ ـ رضى الله عنه ـ قَالَ خَرَجْنَا مَعَ النَّبِيِّ صلى الله عليه وسلم فِي بَعْضِ أَسْفَارِهِ فِي يَوْمٍ حَارٍّ حَتَّى يَضَعَ الرَّجُلُ يَدَهُ عَلَى رَأْسِهِ مِنْ شِدَّةِ الْحَرِّ، وَمَا فِينَا صَائِمٌ إِلاَّ مَا كَانَ مِنَ النَّبِيِّ صلى الله عليه وسلم وَابْنِ رَوَاحَةَ.

訳：

アブー・アッ＝ダルダーウは言いました。私たちは預言者 ﷺ とともに、ある旅に出ました。とても暑い日で、あまりの暑さに人は頭の上に手をかざすほどでした。***私たちの中で断食していたのは、預言者ﷺ とイブン・ラワーハだけでした。***

伝承経路： イマーム・ブハーリーの伝承：アブドゥッラー・ブン・ユースフ ← ヤフヤー・ブン・ハムザ ← アブドゥッラフマーン・ブン・ヤズィード・ブン・ジャービル ← イスマーイール・ブン・ウバイディッラー ← ウンム・アッ＝ダルダーウ ← アブー・アッ＝ダルダーウ رضى الله عنه。

出典： イマーム・ブハーリー『サヒーフ・ブハーリー』断食の書、ハディース第 1945 番。

等級： サヒーフ（真正）― 『サヒーフ・ブハーリー』に収録。ハディース学者の総意により、クルアーンに次いで最も真正な書である。

典拠： https://sunnah.com/bukhari:1945

学者たちは、旅人は断食するか断食を解くかを選ぶことができ、断食を解くのはアッラーからの軽減（ルフサ）であると説明しています。イブン・ラワーハは、最も厳しい状況でもアッラーの使徒 ﷺ とともに断食することを選びました。

© 2026 年 / 1448 AH 著作権所有 Hj Che Alim Hj Che Haron ― ムスリムのための無料版

教訓

イブン・ラワーハは、困難なことでもアッラーの使徒 ﷺ を模範としました。暑さも旅も、彼の礼拝への熱心さを弱めはしませんでした。

© 2026 年 / 1448 AH 著作権所有 Hj Che Alim Hj Che Haron — ムスリムのための無料版 |

補いのウムラで使徒ﷺの前に

ヒジュラ暦 7 年、アッラーの使徒 ﷺ は*補いのウムラ（ウムラト・アル＝カダー）*のためにマッカに入られ、クライシュ族は丘の上から見つめていました。使徒のラクダの手綱を取って前を歩いていたのは、アブドゥッラー・ブン・ラワーハでした。

ハディースの注：「それは矢よりも速く彼らに効く」

アナスによれば、預言者 ﷺ は補いのウムラでマッカに入られ、アブドゥッラー・ブン・ラワーハは使徒の前を歩きながら詩を唱えていました。「不信仰者の子らよ、かれの道をあけよ……」ウマルは彼に言いました。「イブン・ラワーハよ、アッラーの使徒 ﷺ の前で、しかもアッラーの聖域で詩を唱えるのか。」預言者 ﷺ は言われました。

「ウマルよ、彼を放っておきなさい。それは矢を射るよりも速く彼らに効くのだ。」

*伝承の評価：*ダールッサラームによれば「ハサン（良好）」。『ジャーミウ・アッ＝ティルミズィー』2847

参照：

『ジャーミウ・アッ＝ティルミズィー』2847；『スナン・アン＝ナサーイー』2873。

教訓

ふさわしい場で語られる真実の言葉は、矢よりも鋭い武器となりえます。アッラーの使徒 ﷺ は教友一人ひとりの才能を大切にし、それをイスラームのために生かされました。

ハイバルの公正な査定人

ハイバル征服の後、アッラーの使徒 ﷺ は、収穫の半分をムスリムに納めることを条件に、ハイバルのユダヤ教徒がナツメヤシ園を耕すことを認められました。そして毎年、収穫を査定（ハルス）するためにアブドゥッラー・ブン・ラワーハを送られました。

ハディースの注：「これによって天と地は成り立つ」

ハイバルの人々は女性たちの装身具を集めて、イブン・ラワーハに「これはあなたのものだ。査定を軽くしてくれ」と言ったと伝えられます。彼は答えました。「ユダヤの人々よ、アッラーにかけて、あなたがたは私にとってアッラーの被造物の中で最も好ましくない者たちだ。だが、それが私をあなたがたに不正を働かせることはない。あなたがたが差し出す賄賂は禁じられたものであり、私たちはそれを口にしない。」彼らは言いました。***「これ（公正）によって、天と地は成り立っているのだ。」***

伝承の評価：マーリクがサイード・ブン・アル＝ムサイヤブから「ムルサル」として伝えたものですが、イブン・ラワーハがハイバルの査定人だったことはほかの伝承によって裏付けられています。

参照：

マーリク『ムワッタア』分益小作の書；アフマド『ムスナド』。

教訓

イスラームの公正は、好ましく思わない相手に対しても変わりません。イブン・ラワーハは賄賂を拒んで公正にふるまい、相手自身がその正しさを認めました。

© 2026 年 / 1448 AH 著作権所有 Hj Che Alim Hj Che Haron — ムスリムのための無料版 |

気絶とアムラの涙

あるときイブン・ラワーハは病気で気を失いました。姉妹のアムラは、無明時代の嘆きの習わしのように、彼の美点を並べ立てて泣きました。甥のヌウマーン・ブン・バシールはこう語ります。

ハディース ― 『サヒーフ・ブハーリー』第 4267 番

حَدَّثَنِي عِمْرَانُ بْنُ مَيْسَرَةَ، حَدَّثَنَا مُحَمَّدُ بْنُ فُضَيْلٍ، عَنْ حُصَيْنٍ، عَنْ عَامِرٍ، عَنِ النُّعْمَانِ بْنِ بَشِيرٍ ـ رضى الله عنهما ـ قَالَ أُغْمِيَ عَلَى عَبْدِ اللَّهِ بْنِ رَوَاحَةَ، فَجَعَلَتْ أُخْتُهُ عَمْرَةُ تَبْكِي وَاجَبَلاَهْ وَا كَذَا وَا كَذَا. تُعَدِّدُ عَلَيْهِ فَقَالَ حِينَ أَفَاقَ مَا قُلْتِ شَيْئًا إِلاَّ قِيلَ لِي آنْتَ كَذَلِكَ.

訳：

ヌウマーン・ブン・バシールは言いました。アブドゥッラー・ブン・ラワーハが気を失うと、姉妹のアムラが「ああ、私の山よ。ああ、なんと立派な、なんと……」と彼の美点を並べながら泣き始めました。***彼は意識を取り戻すと言いました。「あなたが何か言うたびに、私は『あなたは本当にそうなのか』と問われたのだ。」***

伝承経路： イマーム・ブハーリーの伝承：イムラーン・ブン・マイサラ ← ムハンマド・ブン・フダイル ← フサイン・ブン・アブドゥッラフマーン ← アーミル・アッ＝シャアビー ← アン＝ヌウマーン・ブン・バシール رضى الله عنهما。

出典： イマーム・ブハーリー『サヒーフ・ブハーリー』遠征の書、シャームの地でのムウタ遠征の章、ハディース第 4267 番。

等級： サヒーフ（真正）― 『サヒーフ・ブハーリー』に収録。ハディース学者の総意により、クルアーンに次いで最も真正な書である。

典拠： https://sunnah.com/bukhari:4267

次の伝承で、ヌウマーンはこう付け加えています。***「彼が（ムウタで）亡くなったとき、アムラは彼のために泣き叫ばなかった」***（『サヒーフ・ブハーリー』4268）。イマーム・ブハーリーは、この二つのハディースをムウタの戦いの章に収めています。

教訓

イブン・ラワーハは、病人や亡くなった人への行き過ぎた称賛が、その人にとって重い問いになりうることを、家族にやさしく教えました。アムラはその忠告を受け入れ、兄弟が本当に旅立ったときには耐え忍びました。

© 2026 年 / 1448 AH 著作権所有 Hj Che Alim Hj Che Haron — ムスリムのための無料版 |

ムウタへ出発する前の涙

ヒジュラ暦 8 年のジュマーダー・アル＝ウーラー月、アッラーの使徒 ﷺ は 3000 人の兵をムウタに送り、三人の司令官を順に任命されました。「ザイドが殺されたらジャアファル、ジャアファルが殺されたらアブドゥッラー・ブン・ラワーハ」（『サヒーフ・ブハーリー』4261）。

歴史の注：なぜ泣くのか

イブン・イスハークによれば、人々が司令官たちを見送ったとき、アブドゥッラー・ブン・ラワーハは泣きました。「なぜ泣くのか」と尋ねられると、彼は言いました。「アッラーにかけて、この世への愛でも、あなたがたへの名残でもない。だが私は、アッラーの使徒 ﷺ が火獄に触れたアッラーの啓典の一節を朗誦されるのを聞いた。『あなたがたの中で、そこに来ない者はいない……』。そこに来た後、どうやってそこから出られるのか、私にはわからないのだ。」

伝承の評価： イブン・イスハークがスィーラの書に伝えています。

参照：

イブン・ヒシャーム『預言者伝』（イブン・イスハークからの伝承）；イブン・カスィール『始まりと終わり』。

マルヤム章 19:71

وَإِن مِّنكُمْ إِلَّا وَارِدُهَا ۚ كَانَ عَلَىٰ رَبِّكَ حَتْمًا مَّقْضِيًّا ﴿٧١﴾

そしてあなたがたの中一人もそれを通り越せない。これはあなたがたの主が，成し遂げられる御神命である。

訳：三田了一 — quran.com/19:71

教訓

イブン・ラワーハは、おごりではなく、アッラーへの畏れとともに戦いに出かけました。最も勇敢な人とは、主を最も畏れる人なのです。

© 2026 年 / 1448 AH 著作権所有 Hj Che Alim Hj Che Haron — ムスリムのための無料版

「私たちは数で戦うのではない」

ムスリム軍がマアーンに着くと、ヘラクレイオスがローマ軍とアラブの同盟軍を非常に多く集めたという知らせが届きました。彼らは二晩話し合い、アッラーの使徒ﷺに手紙を書いて援軍か指示を求めようと提案する者もいました。

歴史の注：マアーンでのイブン・ラワーハの演説

イブン・ラワーハは立ち上がり、人々を奮い立たせました。「人々よ、アッラーにかけて、あなたがたが今嫌っているものこそ、求めて出てきたもの――殉教なのだ。私たちは人々と、数や力や多さで戦うのではない。アッラーが私たちを高めてくださったこの宗教によって戦うのだ。進もう。それは二つの良いことのどちらかにすぎない。勝利か、殉教かだ。」人々は「アッラーにかけて、イブン・ラワーハは真実を言った」と言い、前進しました。

伝承の評価： スィーラの書に伝えられていますが、敵軍の数は伝承によって異なります。

参照：

イブン・ヒシャーム『預言者伝』（イブン・イスハークからの伝承）；ワーキディー『マガーズィー』；イブン・カスィール『始まりと終わり』。

教訓

信者の本当の勝利は数では測れません。一人の誠実な人の言葉が、軍全体の勇気をよみがえらせることがあるのです。

© 2026 年 / 1448 AH 著作権所有 Hj Che Alim Hj Che Haron — ムスリムのための無料版 |

ムウタの三番目の司令官

ムウタでザイドが倒れ、次にジャアファルが倒れました。アッラーの使徒 ﷺ の旗を次に取ったのは、アブドゥッラー・ブン・ラワーハでした。マディーナで、アッラーの使徒 ﷺ は知らせが届く前にそのことを告げられました。

ハディース — 『サヒーフ・ブハーリー』第 4262 番

حَدَّثَنَا أَحْمَدُ بْنُ وَاقِدٍ، حَدَّثَنَا حَمَّادُ بْنُ زَيْدٍ، عَنْ أَيُّوبَ، عَنْ حُمَيْدِ بْنِ هِلاَلٍ، عَنْ أَنَسٍ ـ رضى الله عنه ـ أَنَّ النَّبِيَّ صلى الله عليه وسلم نَعَى زَيْدًا وَجَعْفَرًا وَابْنَ رَوَاحَةَ لِلنَّاسِ، قَبْلَ أَنْ يَأْتِيَهُمْ خَبَرُهُمْ فَقَالَ " أَخَذَ الرَّايَةَ زَيْدٌ فَأُصِيبَ، ثُمَّ أَخَذَ جَعْفَرٌ فَأُصِيبَ، ثُمَّ أَخَذَ ابْنُ رَوَاحَةَ فَأُصِيبَ ـ وَعَيْنَاهُ تَذْرِفَانِ ـ حَتَّى أَخَذَ الرَّايَةَ سَيْفٌ مِنْ سُيُوفِ اللَّهِ حَتَّى فَتَحَ اللَّهُ عَلَيْهِمْ ".

訳：

アナスによれば、預言者 ﷺ は、ザイド、ジャアファル、イブン・ラワーハの知らせが届く前に、彼らの死を人々に告げられました。使徒は言われました。「ザイドが旗を取り、そして倒れた。次にジャアファルが取り、倒れた。***次にイブン・ラワーハが取り、倒れた。***」――そのとき使徒の両目からは涙が流れていました――「ついにアッラーの剣の一振りが旗を取り、アッラーは彼らに勝利を授けられた。」

伝承経路： イマーム・ブハーリーの伝承：アフマド・ブン・ワーキド ← ハンマード・ブン・ザイド ← アイユーブ・アッ＝サフティヤーニー ← フマイド・ブン・ヒラール ← アナス・ブン・マーリク رضى الله عنه。

出典： イマーム・ブハーリー『サヒーフ・ブハーリー』遠征の書、シャームの地でのムウタ遠征の章、ハディース第 4262 番。

等級： サヒーフ（真正）— 『サヒーフ・ブハーリー』に収録。ハディース学者の総意により、クルアーンに次いで最も真正な書である。

典拠： https://sunnah.com/bukhari:4262

歴史の注：「魂よ、私は誓った」

イブン・イスハークによれば、イブン・ラワーハは旗を取ったとき少しためらいましたが、詩で自らを励ましました。「魂よ、私は誓った。おまえは望もうと望むまいと、必ず（戦場に）降りるのだ……なぜおまえは楽園を嫌うように見えるのか。」そして馬から降りました。いとこが力をつけるようにと肉を一切れ持ってくると、彼は一口かじってから投げ捨て、「おまえはまだこの世にかかずらっているのか」と言いました。そして剣を取り、殉教するまで戦いました。

伝承の評価： イブン・イスハークがスィーラの書に伝えていますが、その細部は『サヒーフ・ブハーリー』にはありません。

参照：

イブン・ヒシャーム『預言者伝』（イブン・イスハークからの伝承）；イブン・カスィール『始まりと終わり』。

その後、旗は「アッラーの剣の一振り」ハーリド・ブン・アル＝ワリードが取り、ムスリム軍を救いました（第 3 巻：ハーリド・ブン・アル＝ワリードを参照）。

教訓

イブン・ラワーハは、自分の魂がためらったことを隠しませんでした。彼の誉れは、詩を信仰に従わせたように、魂を真理に従わせたことにあります。

© 2026 年 / 1448 AH 著作権所有 Hj Che Alim Hj Che Haron — ムスリムのための無料版 |

アッラーの使徒ﷺの悲しみ

アーイシャ رضى الله عنها は、ザイド・ブン・ハーリサ、ジャアファル・ブン・アビー・ターリブ、アブドゥッラー・ブン・ラワーハが殺されたという知らせが届いたとき、アッラーの使徒 ﷺ が座り込み、その顔に悲しみがはっきりと表れていたと伝えています（『サヒーフ・ブハーリー』4263）。

三人の高潔な教友――元奴隷、使徒の従兄弟、そしてアンサールの詩人――が、同じ日に同じ旗のもとで倒れました。彼らはウンマ（共同体）の一体性を表しています。移住者（ムハージルーン）と援助者（アンサール）、クライシュ族とそうでない人々です。

教訓

正しい人の死を悲しむことは弱さではなく、慈悲です。アッラーの使徒 ﷺ は悲しまれましたが、アッラーの定めに満足しておられました。

イブン・ラワーハの人柄

イブン・ラワーハの物語は、雄弁と礼拝と勇気を兼ね備えた一人の信者の姿を描いています。

特質	生涯からの例
指導力	アカバの誓いのナキーブ
清らかな舌	「あなたがたの兄弟は卑しい言葉を口にしない」（『サヒーフ・ブハーリー』1155）
信仰のための詩	塹壕で使徒 ﷺ がその詩を口ずさまれた（『サヒーフ・ブハーリー』4106）
礼拝への熱心さ	焼けつく日の断食（『サヒーフ・ブハーリー』1945）
公正さ	ハイバルの査定で賄賂を拒んだ
アッラーへの畏れ	ムウタの前にマルヤム章 19:71 を思って泣いた
勇気	ムウタの三番目の司令官（『サヒーフ・ブハーリー』4262）

教訓

イブン・ラワーハは、舌と心がアッラーに従うとき、詩人が礼拝者にも英雄にもなれることを示しました。

© 2026 年 / 1448 AH 著作権所有 Hj Che Alim Hj Che Haron — ムスリムのための無料版 |

イブン・ラワーハの物語の典拠

この表は、読者が真正なものと単に有名なだけのものを区別できるよう、それぞれの話の典拠と等級をまとめたものです。

話	典拠	等級
塹壕での詩	『サヒーフ・ブハーリー』4106	サヒーフ
使徒 🕊 の夜の礼拝を描いた詩	『サヒーフ・ブハーリー』1155	サヒーフ
暑い日の断食	『サヒーフ・ブハーリー』1945	サヒーフ
気絶とアムラの涙	『サヒーフ・ブハーリー』4267、4268	サヒーフ
ムウタの三人の司令官	『サヒーフ・ブハーリー』4261	サヒーフ
使徒 🕊 が殉教を告げる	『サヒーフ・ブハーリー』4262、4263	サヒーフ
マッカで使徒 🕊 の前で詩を唱える	『ジャーミウ・アッ＝ティルミズィー』2847	ハサン
アカバの誓いのナキーブ	イブン・イスハーク	スィーラ
マアーンでの演説	イブン・イスハーク	スィーラ
マルヤム章 19:71 による涙	イブン・イスハーク	スィーラ
「魂よ、私は誓った」	イブン・イスハーク	スィーラ
ハイバルで賄賂を拒む	『ムワッタア・マーリク』	ムルサル
「なんと得な取引か」	イブン・カスィール（ムハンマド・ブン・カアブ）	ムルサル
三人の詩人の涙	タバリー；イブン・カスィール	ムルサル

© 2026 年 / 1448 AH 著作権所有 Hj Che Alim Hj Che Haron — ムスリムのための無料版 |

イブン・ラワーハの物語の人物

人物	役割
アムラ・ビント・ラワーハ	姉妹
ヌウマーン・ブン・バシール	甥。気絶の話の伝承者
ハッサーン・ブン・サービト	使徒 ﷺ の詩人仲間
カアブ・ブン・マーリク	使徒 ﷺ の詩人仲間
バラーウ・ブン・アーズィブ	塹壕の詩の伝承者
アブー・フライラ	使徒 ﷺ についての彼の詩を引用した
アブー・アッ＝ダルダーウ	彼の断食の伝承者
ウマル・ブン・アル＝ハッターブ	マッカでの詩を問いただした
ザイド・ブン・ハーリサ	ムウタの最初の司令官（第 7 巻）
ジャアファル・ブン・アビー・ターリブ	ムウタの二番目の司令官（第 8 巻）
ハーリド・ブン・アル＝ワリード	彼の後に旗を取った（第 3 巻）

© 2026 年 / 1448 AH 著作権所有 Hj Che Alim Hj Che Haron — ムスリムのための無料版 |

イブン・ラワーハの物語の場所

場所	出来事
マディーナ	故郷；代理に任命（ヒジュラ暦 4 年）
アカバ（ミナー）	アカバの誓い；ナキーブに選ばれる
バドル	参戦；勝利の吉報を伝える（ヒジュラ暦 2 年）
塹壕（ハンダク）	使徒 ﷺ がその詩を口ずさまれた（ヒジュラ暦 5 年）
マッカ	補いのウムラ；使徒 ﷺ の前で詩を唱える（ヒジュラ暦 7 年）
ハイバル	ナツメヤシの収穫を公正に査定
マアーン	軍を奮い立たせた演説（ヒジュラ暦 8 年）
ムウタ（ヨルダン南部）	三番目の司令官；殉教（ヒジュラ暦 8 年）

© 2026 年 / 1448 AH 著作権所有 Hj Che Alim Hj Che Haron — ムスリムのための無料版 |

イブン・ラワーハの生涯の年表

年	出来事
イスラーム以前	字の書けるハズラジュ族の詩人
預言者となって13年目	第二アカバの誓い；ハーリス家のナキーブ
ヒジュラ暦2年	バドルの戦い；勝利の知らせを伝える
ヒジュラ暦3年	ウフドの戦い
ヒジュラ暦4年	マディーナの代理（バドル・アル＝マウイド）
ヒジュラ暦5年	塹壕の戦い；使徒 ﷺ がその詩を口ずさまれる
ヒジュラ暦6〜7年	フダイビヤ、ハイバル、補いのウムラ
ヒジュラ暦8年	ムウタの三番目の司令官；殉教

© 2026 年 / 1448 AH 著作権所有 Hj Che Alim Hj Che Haron — ムスリムのための無料版 |

イブン・ラワーハについてよくある質問

この章では、アブドゥッラー・ブン・ラワーハ رضى الله عنه についてよく尋ねられる質問に答えます。答えは簡潔にしてあり、詳しくはこれまでの章にあります。

1. イブン・ラワーハの正式な名前は？

アブドゥッラー・ブン・ラワーハ・ブン・サアラバ・アル＝アンサーリー・アル＝ハズラジー。クンヤはアブー・ムハンマドです。

2. アカバの誓いでの彼の役割は？

選ばれた十二人のナキーブ（代表者）の一人でした。

3. アッラーの使徒ﷺは本当に彼の詩を口ずさまれたのですか？

はい、ハンダクの戦いで塹壕を掘りながら（『サヒーフ・ブハーリー』4106）。

4. 使徒ﷺについての彼の詩は何を語っていますか？

使徒が夜明けにクルアーンを朗誦し、夜に礼拝に立たれることです（『サヒーフ・ブハーリー』1155）。

5. クルアーンは詩をどう評価していますか？

信仰して善行に励む詩人は非難から除かれています（詩人たち章 26:227）。

6. 補いのウムラで何がありましたか？

彼は詩を唱えながら使徒 ﷺ の前を歩きました（『ジャーミウ・アッ＝ティルミズィー』2847）。

7. ハイバルでの彼の務めは？

毎年ナツメヤシの収穫を査定することで、彼は賄賂を拒みました。

8. なぜ彼はムウタの前に泣いたのですか？

すべての人が火獄に来るという節を思い出したからです（マルヤム章 19:71）。

9. マアーンで彼は何と言いましたか？

「私たちは数ではなく、この宗教によって戦う」――勝利か、殉教か。

10. ムウタの三人の司令官は誰ですか？

ザイド・ブン・ハーリサ、ジャアファル・ブン・アビー・ターリブ、アブドゥッラー・ブン・ラワーハです（『サヒーフ・ブハーリー』4261）。

11. 彼の後に旗を取ったのは誰ですか？

「アッラーの剣の一振り」ハーリド・ブン・アル＝ワリードです（『サヒーフ・ブハーリー』4262）。

12. イブン・ラワーハの物語から学ぶ最大の教訓は？

舌と魂をアッラーに従わせ、言葉を行いで証明することです。

© 2026 年 / 1448 AH 著作権所有 Hj Che Alim Hj Che Haron — ムスリムのための無料版 |

教訓と結び

アブドゥッラー・ブン・ラワーハ رضى الله عنه の物語は、アカバで忠誠を誓ったマディーナの一人の詩人に始まり、最後の詩で自らの魂を励ました後、ムウタで殉教した司令官で終わります。

教訓	イブン・ラワーハの物語から
真理のための才能	イスラームを守り、アッラーを思い起こさせる詩
アッラーとの取引	「なんと得な取引か」——命と引き換えに楽園
礼拝への熱心さ	断食と夜の礼拝
公正さ	好ましく思わない相手にも不正をしない
アッラーへの畏れ	火獄を思って泣く
証明された言葉	殉教を呼びかけ、自ら殉教した

この巻によって、ムウタの三人の司令官——ザイド・ブン・ハーリサ、ジャアファル・ブン・アビー・ターリブ、アブドゥッラー・ブン・ラワーハ رضى الله عنهم——の物語が完結しました。アッラーが私たちを彼らとともに、そしてアッラーの使徒 ﷺ とともに楽園に集めてくださいますように。

インシャーアッラー、『イスラームの英雄』シリーズは、また別のイスラームの英雄の物語へと続きます。

© 2026 年 / 1448 AH 著作権所有 Hj Che Alim Hj Che Haron — ムスリムのための無料版 |

参考文献

クルアーンと解釈

聖クルアーン、ウスマーン版の本文と三田了一訳。https://quran.com

タバリー『ジャーミウ・アル＝バヤーン』（詩人たち章 26:224〜227）。

イブン・カスィール『偉大なるクルアーンの解釈（タフスィール・アル＝クルアーン・アル＝アズィーム）』（悔悟章 9:111；マルヤム章 19:71；詩人たち章 26:224〜227）。

ハディース

『サヒーフ・ブハーリー』1155、1945、4106、4261、4262、4263、4267、4268。https://sunnah.com/bukhari

『ジャーミウ・アッ＝ティルミズィー』2847。https://sunnah.com/tirmidhi

『スナン・アン＝ナサーイー』2873。https://sunnah.com/nasai

マーリク・ブン・アナス『ムワッタア』分益小作の書。https://sunnah.com/malik

アフマド・ブン・ハンバル『ムスナド』。

スィーラ、歴史、伝記の書

イブン・ヒシャーム『預言者伝（アッ＝スィーラ・アン＝ナバウィーヤ）』（イブン・イスハークからの伝承）。

ワーキディー『マガーズィー（遠征記）』。

イブン・サアド『大列伝（アッ＝タバカート・アル＝クブラー）』（アブドゥッラー・ブン・ラワーハの伝記）。

イブン・カスィール『始まりと終わり（アル＝ビダーヤ・ワ・アン＝ニハーヤ）』。

ザハビー『高貴な人々の伝記（スィヤル・アアラーム・アン＝ヌバラー）』。

イブン・ハジャル・アル＝アスカラーニー『アル＝イサーバ』；『ファトフ・アル＝バーリー』。

Wikipedia「Abd Allah ibn Rawaha」。https://en.wikipedia.org/wiki/Abd_Allah_ibn_Rawaha

© 2026 年 / 1448 AH 著作権所有 Hj Che Alim Hj Che Haron — ムスリムのための無料版 |

QURANSCIENCE.MY の関連シリーズ

『イスラームの英雄』第 1 巻：ハムザ・ブン・アブドゥルムッタリブから第 8 巻：ジャアファル・ブン・アビー・ターリブまで；とくに第 7 巻：ザイド・ブン・ハーリサと第 8 巻：ジャアファル・ブン・アビー・ターリブ（ムウタ）。https://quranscience.my/#pahlawan

支援と寄付

この電子書籍はムスリムのために**完全に無料**で発行されており、**決して販売してはなりません**。研究費、ウェブサイト quranscience.my の運営費、そして次の電子書籍の発行のためのご寄付を心から歓迎します – ただし、**義務ではありません**。アッラーがすべてのご寄付を継続する施し（サダカ・ジャーリヤ）としてお受け入れくださいますように。

雌牛章 2:261

مَّثَلُ ٱلَّذِينَ يُنفِقُونَ أَمۡوَٰلَهُمۡ فِي سَبِيلِ ٱللَّهِ كَمَثَلِ حَبَّةٍ أَنۢبَتَتۡ سَبۡعَ سَنَابِلَ فِي كُلِّ سُنۢبُلَةٖ مِّاْئَةُ حَبَّةٖۗ وَٱللَّهُ يُضَٰعِفُ لِمَن يَشَآءُۚ وَٱللَّهُ وَٰسِعٌ عَلِيمٌ ٢٦١

アッラーの道のために自分の所有するものを施す者を例えてみれば、ちょうど 1 粒が 7 穂を付け、1 穂に百粒を付けるのと同じである。アッラーは御心に適う者に、倍加してくださる。アッラーは厚施にして全知であられる。

訳：三田了一 — quran.com/2:261

サバア章 34:39

قُلۡ إِنَّ رَبِّي يَبۡسُطُ ٱلرِّزۡقَ لِمَن يَشَآءُ مِنۡ عِبَادِهِۦ وَيَقۡدِرُ لَهُۥۚ وَمَآ أَنفَقۡتُم مِّن شَيۡءٖ فَهُوَ يُخۡلِفُهُۥۖ وَهُوَ خَيۡرُ ٱلرَّٰزِقِينَ ٣٩

言ってやるがいい。『本当にわたしの主は、そのしもべの中から御心に適う者に、御恵みを豊かに与えまた或る者には乏しく授けられる。かれはあなたがたが（主の道のために）施すものはすべて返される。かれは最も優れた御恵を与える方であられる。』

訳：三田了一 — quran.com/34:39

ハディース — 『サヒーフ・ムスリム』第 2588 番

حَدَّثَنَا يَحْيَى بْنُ أَيُّوبَ، وَقُتَيْبَةُ، وَابْنُ، حُجْرٍ قَالُوا حَدَّثَنَا إِسْمَاعِيلُ، - وَهُوَ ابْنُ جَعْفَرٍ - عَنِ الْعَلاَءِ، عَنْ أَبِيهِ، عَنْ أَبِي هُرَيْرَةَ، عَنْ رَسُولِ اللَّهِ صلى الله عليه وسلم قَالَ « مَا نَقَصَتْ صَدَقَةٌ مِنْ مَالٍ وَمَا زَادَ اللَّهُ عَبْدًا بِعَفْوٍ إِلاَّ عِزًّا وَمَا تَوَاضَعَ أَحَدٌ لِلَّهِ إِلاَّ رَفَعَهُ اللَّهُ ».

訳：

アブー・フライラ رضى الله عنه によれば、アッラーの使徒 ﷺ は言われた。「施しは財産を減らさない。人を赦すしもべに、アッラーは尊厳しか増し加えない。アッラーのためにへりくだる者を、アッラーは必ず高められる。」

伝承経路： イマーム・ムスリムの伝承：ヤフヤー・ブン・アイユーブ、クタイバ・ブン・サイードとアリー・ブン・フジュル ← イスマーイール・ブン・ジャアファル ← アル＝アラー・ブン・アブドゥッラフマーン ← 父 アブドゥッラフマーン・ブン・ヤアクーブ ← アブー・フライラ رضى الله عنه。

出典： イマーム・ムスリム『サヒーフ・ムスリム』善行・親族の絆・作法の書、赦しと謙虚さを勧めることの章、ハディース第 2588 番。

等級： サヒーフ（真正）―『サヒーフ・ムスリム』に収録。

典拠：https://sunnah.com/muslim:2588

ハディース ― 『サヒーフ・ムスリム』第 1631 番

حَدَّثَنَا يَحْيَى بْنُ أَيُّوبَ، وَقُتَيْبَةُ، - يَعْنِي ابْنَ سَعِيدٍ - وَابْنُ حُجْرٍ قَالُوا حَدَّثَنَا إِسْمَاعِيلُ، - هُوَ ابْنُ جَعْفَرٍ - عَنِ الْعَلاَءِ، عَنْ أَبِيهِ، عَنْ أَبِي هُرَيْرَةَ، أَنَّ رَسُولَ اللَّهِ صلى الله عليه وسلم قَالَ « إِذَا مَاتَ الإِنْسَانُ انْقَطَعَ عَنْهُ عَمَلُهُ إِلاَّ مِنْ ثَلاَثَةٍ إِلاَّ مِنْ صَدَقَةٍ جَارِيَةٍ أَوْ عِلْمٍ يُنْتَفَعُ بِهِ أَوْ وَلَدٍ صَالِحٍ يَدْعُو لَهُ ».

訳：

アブー・フライラ رضى الله عنه によれば、アッラーの使徒 ﷺ は言われた。「人が死ぬと、その行いは三つを除いて途絶える。継続する施し（サダカ・ジャーリヤ）、役に立つ知識、またはその人のために祈る正しい子どもである。」

伝承経路： イマーム・ムスリムの伝承：ヤフヤー・ブン・アイユーブ、クタイバ・ブン・サイードとアリー・ブン・フジュル ← イスマーイール・ブン・ジャアファル ← ア

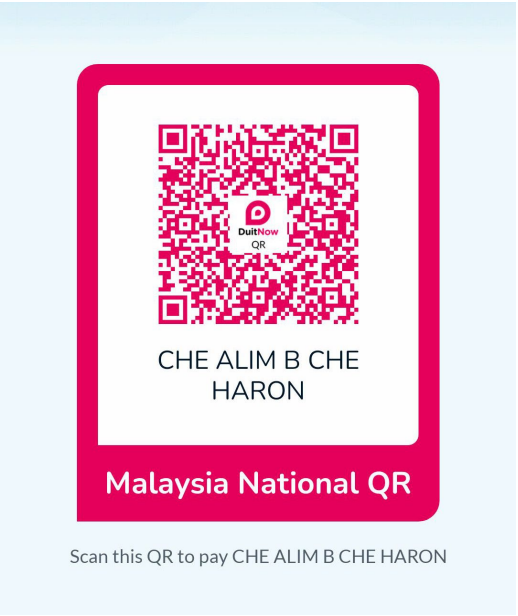
ル＝アラー・ブン・アブドッラフマーン ← 父 アブドッラフマーン・ブン・ヤアクーブ ← アブー・フライラ رضي الله عنه。

出典： イマーム・ムスリム『サヒーフ・ムスリム』遺言の書、死後に人に届く報奨の章、ハディース第 1631 番。

等級： サヒーフ（真正）— 『サヒーフ・ムスリム』に収録。

典拠：https://sunnah.com/muslim:1631

ジャザークムッラーフ・ハイラン・カスィーラ（多大なる善い報いがありますように）



上の QR コード（DuitNow）を読み取って寄付できます。



海外からのご寄付：寄付するボタンをクリックするか、こちらへ paypal.me/quranscience